

宇津木台 森遊会 実施報告

「第3回定例活動」

No.2018-03

実施日	2017年6月24日(日) 9:30~12:30	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地 (八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 5名(男性3、女性2) 野原、中村(弘)、田原、伊東、矢島 インストラクター: 金森		

実施内容

活動8年目の第三回目。双眼鏡を持って雑木林の植生や巣箱を観てまわる。

梅雨の晴れ間とあって、ネジバナやトラノオが今年も綺麗な花を咲かせている。キノコ類も元気。

巣箱は静かで子育て・巣立ちが無事に終わったようだ。森のステージ周りの笹狩りが終わったので新たなエリアにとりかかる。滑走路の終点は4年ほど前に半分刈って遊歩道を造った。しかし、その後通行が少ないためか、すっかり笹に覆われてしまっている。会の活動第一回目で設けた植生調査地(2×2m)はどこにあるのかももうわからない。なんとか発見し囲いの針金は作業の邪魔になるので撤去した。

高いところで背丈ほどの笹を刈ってゆく、約1時間で半分ほどを刈り終えた。この続きは次回の活動。

休憩していると滑走路の側溝にタヌキの巣穴を発見、側溝の上に伐った木や笹が積んであるので屋根になっており、うまいところに目を付けたものだ。中をストロボ撮影したが留守だった。次回に期待。



初夏に向かって様々な植物が現れる



ネジバナ、トラノオ...



雨上がりのキノコ類も元気だ



ツチグリ...



体験学習で刈った笹エリアをチェック 巣箱を見てまわる



今年の子育ては終わったようだ



明るくなり増えてきた



新たに笹を刈るエリアはどこにするか 滑走路の終点にした



結構蒸し暑い 約1時間でこの通り、続きは来月



活動の第1回目で設置した植生柵を撤去する お疲れ様です



タヌキの巣穴を発見



墓地との境界の草刈りは課題

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋小1個を指定の場所に置く。